

書類交付及び教務ガイダンス

理工学部 情報科学科 1年次

本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

書類交付

下記の順路に沿って各自配付資料を受け取り座席に着席してください。

ステージ上の配付物



順路

- ① まずステージ上の配付物を一人一部ずつ取り、座席に座ってください。
- ② 着席の際は、**番号札がついている座席**に座ってください。
- ③ 着席後、アンケート説明資料を確認し、
アンケートに**必ず回答**してください。
(アンケートの回答をもって出席とします)

本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

アンケート

1年次ガイダンス座席位置確認のお願い

コロナウイルス感染拡大防止のため、座席位置確認にご協力ください。

以下の要領に沿ってアンケートに回答してください。

① QRコードでアンケートサイトに移動する。

A smartphone screen displays a survey form titled "ガイダンス座席位置 確認について" (Guidance Seat Position Confirmation). The form includes a "送信" (Send) button and a text input field for the student ID number. A red dashed arrow points from the "学籍番号" field on the student ID card to this input field.

ガイダンス座席位置
確認について

匿名で送信します。

* 必須

1. 学籍番号 *

回答を入力してください

送信

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。
送信したコンテンツはフォームの所有者に送信されます。パスワードを記録しないでください。



本日のガイダンススケジュール

① 書類交付

② アンケート

③ 教務ガイダンス

教務ガイダンス

理工学部 情報科学科 1年次



配布資料

◎本日の配布資料

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド（各学部別）
5. 履修ガイド（K'sLife利用ガイド）
6. 授業時間割表【専門科目・KSU基盤教育科目・外国語科目の3種類】
7. 教職課程について
8. 楽天Edy学生証利用案内
9. 教科書・教材WEB販売チラシ
10. Campus
11. CAMPUS DIARY（学生手帳）
12. CIRCLE GUIDE（学友会誌）
13. 「NHKからの大切なお知らせ」チラシ
14. 「福岡市消費生活センター」チラシ
15. 大学生活を守るための諸注意
16. 定期健康診断日程表
17. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
18. キャンパスハラスメント冊子
19. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2021-2022
20. 九州産業大学美術館所蔵品展「face」チラシ
21. 九州産業大学の資格取得講座
22. 広報誌「+K（プラスケー）」
23. 入学直後アンケート
24. キャリア形成基礎論受講のすすめ

封筒の中に、**「配布書類及び解説」（A4縦1枚）**に記載されているものが、すべて入っているか確認してください。

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

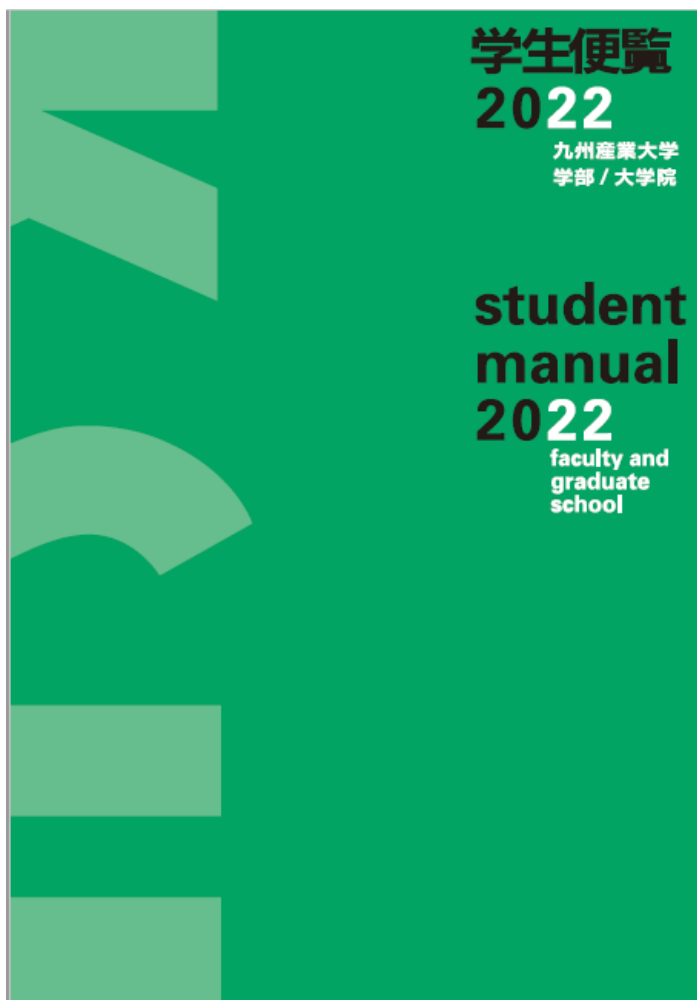
大学生活を過ごす上で

高校と大学の違い

	高校	大学
学期制	3学期制(原則)	2学期制(前学期・後学期)
授業時間	50分	100分
授業時間割 (履修)	指定されている (クラス共通)	自分自身で 選択 する
クラス制及び クラス担任	あり (1クラス10~20人程度)	あり (ゼミナール担当教員)
教室	指定されている (クラス共通)	選択した授業科目によって 異なる (授業科目ごとに指定)
卒業要件	学年制(原則)	単位制 (124単位以上) 各学部の卒業に必要な単位数を修得する

大学生は「自己選択→自己決定→自己責任」

学生便覧



在学中、すべてのルールは
学生便覧に基づいている

学年暦(P.1)
**令和4年度の
年間スケジュール**

一般のカレンダーと**異なり**、
休暇期間・祝日授業日等
を掲載

学年暦

前学期

後学期

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

授業開始日

4/8～全14回

9/15～全14回

補講日

4/9,4/23,5/6,5/14,5/28,6/11,
6/25,7/9,7/23

9/24,10/8,10/15,11/12,11/26,12/3,
12/17,1/11,1/12

定期試験

7/25～7/30

1/16～1/21

祝日授業実施日

7/18

9/19,9/23,11/23

成績公開日

8/30

3/10

休業開始日

夏季休業 7/31～

冬季休業 12/27～

K'sLife(ケースライフ)



- ▶ [学生、教員、職員の方はこちら](#)
- ▶ [保護者の方はこちら](#)

個人の履修登録、成績、連絡通知について
閲覧可能なWEBサイト
※毎日確認すること
※長期休み中もこまめに見ること

時間割、その他連絡について 閲覧可能なWEBサイト

教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

トップページ

- 教務課からのお知らせ

教務関係のお知らせを掲載します。

- よくある質問

問い合わせが多い内容を掲載します。

- 利用の手引き

- 学籍関係

- 教務の紹介

etc.....

学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること

履修規程の要点を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- 時間割

授業の時間割を掲載しています。
試験前は試験時間割を掲載します。

- 学部からのお知らせ

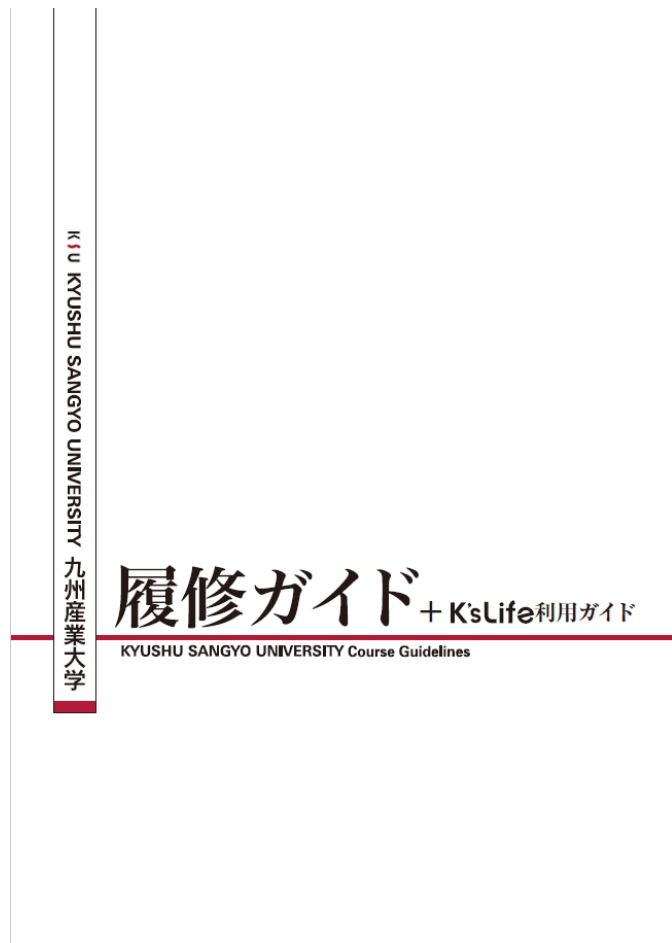
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<https://www.kyusan-u.ac.jp/eas/>



履修登録



自分で時間割を作成し、
K'sLifeで授業科目を
WEB登録すること

4/6(水)のWEB履修登録説明会で
詳しく教えます。

本年度の履修に関する手引書。
講義受講の注意事項を記載。
必ず一読し、履修登録すること。

シラバス

科目コード	DFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	千 相哲 木村 俊夫 古賀 彰生 雲俣 優 末松 剛 山下 永子 小池 嘉史 高山 和幸 田代 雅彦 基橋 誠 大方 優子 宮岡 祐司 森下 俊一郎 豊島 茂		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義室	N302教室	開講学期	後期
曜日・時限	火4	単位数	2
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	<input type="checkbox"/>		
A 講義概要/Class Outline	地域を取り巻く環境が大きく変化していく中で、地域住民が地域を見直し、誇りを持ち続けられる社会を実現し、地域社会が自律性・独自性を維持するためには、地域の文化的資源の再認識と価値付けが求められる。この授業では、専門領域の異なる教員が連携し、九州の地域社会、経済、産業、人々の暮らしを総合的に概観しながら、九州の地域課題の本質の基本認識、問題解決に必要な考え方、専門領域横断的分析方法や考察方法について学ぶ。【本授業は対面と遠隔を組み合わせて実施し、対面・遠隔の実施日程は初回の授業で指示します】		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	九州の観光特性と観光ビッグバンについて学ぶ。	
	2	九州地域の地理的特性と主要産業の分布について、他の地域との関係について学ぶ。	
	3	九州地域における芸術文化を通じた地域活性化の取り組みについて学ぶ。	
	4	九州地域における農業について、その特徴を農産物ブランドから学ぶ。	
	5	九州地域における地方自治の現状と課題について学ぶ。	
	6	九州地域における様々な課題について、憲法、行政法、地方自治法について学ぶ。	
	7	公的統計を把握しながら、九州地域の人口構成・移動、住まい、暮らしについて学ぶ。	
	8	九州主要地域の国際戦略・都市マーケティング戦略について学ぶ。	
	9	地域に根ざした歴史史料に着目し、先人の育んできた地域社会・暮らしについて学ぶ。	
	10	アニメ聖地巡礼による九州地域への誘客の可能性について、事例から学ぶ。	
	11	温泉王国九州の魅力とは何か。温泉地域の観光の動向とまちづくりについて学ぶ。	
	12	九州の温泉旅館のおもてなしマネジメントについて学ぶ。	
	13	九州の旅行業界のニュービジネスについて学ぶ。	
	14	九州はひとつの理念と九州観光のブランディングについて学ぶ。	
C 到達目標/Class Goal	九州の地域社会や地域課題について学ぶことにより、学部全体の教育を担う		
D 準備学習の内容(事前・事後学習)	事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度) 事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること		
E 評価基準Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀で、可(C)60点から69点まで、不可59点以下		
F 評価方法/Grading Method	授業毎の小テストの結果を総合して評価する。		
G 受講上の注意/Class Rules	講義中は私語を慎むこと。また、講義室は座席指定を行う。		
H 受講前提/Prerequisite	本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教席のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。		
I 関連する科目Related Class	観光関連科目、地域づくり関連科目		

授業科目の内容・学修計画等を記載
K'sLifeで閲覧可能

※シラバスを確認の上で
履修登録すること

先生の連絡先

科目コード	DFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	千 相哲 木村 俊大 古賀 彰生 雲飯 優 末松 剛 山下 永子 小池 嘉史 高山 和幸 田代 雅彦 基橋 誠 大方 優子 宮岡 祐司 森下 俊一郎 豊島 茂		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義室	N302教室	開講学期	後期
曜日・時限	火4	単位区分	選択
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	<input type="checkbox"/>		

A 講義概要/Class Outline

B 講義計画(テーマ及び学習内容)

**シラバスの教員名(青字)をクリックすると、
メールアドレスが表示される。**

**※非常勤の先生に連絡が取りたい時は、
教務課に連絡すること**

C 到達目標/Class Goal

D 準備学習の内容(事前・事後学習)

事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度)
事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること。(30時間程度)

E 評価基準/Grading Criteria

地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀(S)：90点から100点、優(A)80点から89点まで、良(B)70点から79点まで、可(C)60点から69点まで、不可59点以下

F 評価方法/Grading Method

授業毎の小テストの結果を総合して評価する。

G 受講上の注意/Class Rules

講義中は私語を慎むこと。また、講義室は座席指定を行う。

H 受講前提/Prerequisite

本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教室のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。

I 関連する科目/Related Class

観光関連科目、地域づくり関連科目

出席

入室登録	授業開始 10分前 から 授業開始 (チャイム) まで
退室登録	授業終了 15分前 から 授業終了 10分後 まで

※遠隔授業は別途指示に従うこと

出席の登録は、各教室に設置のICカードリーダーに
学生証をかざす必要がある。

※学生証をかざす**時間帯**には注意すること。

※入退出両方を正常に登録しないと出席にならない。

休講・補講

休講：授業担当者のやむを得ない理由で授業が行われないこと。

補講：休講した授業を補うために行う授業。
土曜日または平日の6限に実施。

※休講・補講の情報は**K'sLifeで通知**。

大学の学修

1 時間割を作成、WEB履修登録を行う

時間割確定後、教科書を購入

2 授業に出席・課題へ取り組む

休講・補講に気を付けること

3 レポート提出等、定期試験

4 卒業に必要な単位を修得

5 卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照すること

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

卒業要件と単位認定方法

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件
別表第10は、P.66に記載。
卒業までに **1 2 4 単位以上** 必要。
- ・ 第18条：単位の認定
授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われる。

成績評価は以下表示形式。

秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D/E)

1～3年次では
違いはない

単位修得

教育課程

基礎教育科目

広く様々な学問を学び
人間力を養う

外国語科目

外国語によるコミュニケーション能力を養う
(英語・初修外国語)
「聞く・話す・読む・書く」

専門科目

特定の分野について
専門的に学ぶ
(学部・学科で異なる)

卒業（124単位以上）

卒業要件

《理工学部卒業要件》

学生便覧129ページ

卒業するまでに必要な単位は、**124単位**
ただし、下記の卒業要件を満たさなければならない。

授業科目区分		授業科目及び単位数			
		情報科学科		機械工学科	電気工学科
専門科目	必修科目	40単位	62単位	56単位	さらに専門科目、基礎教育科目、 外国語科目から20単位以上
	選択必修科目	—		4単位以上	
	選択科目	48単位以上		24単位以上	
基礎教育科目	導入科目	2単位	14単位以上	14単位以上	
	学修基礎科目	14単位以上			
	キャリア科目				
	文理芸融合科目				
教養科目					
外国語科目		英語 6 単位以上	英語 6 単位以上	英語 6 単位以上	
合計		124単位以上	124単位以上	124単位以上	



卒業要件【選択必修・選択科目について】

情報技術

年次別授業科目配当表

区分		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
専 門 基 礎	専 門 基 礎	*情報リテラシー	2	*プログラミング基礎Ⅰ	2					
		*プログラミング入門	2	日本語表現法	2					
		*プログラミング基礎Ⅱ	2	技術者倫理	2					
		*情報科学基礎演習	2	物理学	2					
		電気工学概論	2	現代自然科学	2					
	情 報 数 理		基礎数学	2	確率統計	2	微分幾何学Ⅰ	2		
			線形代数Ⅰ	2	初等幾何学	2	微分幾何学Ⅱ	2		
			線形代数Ⅱ	2	微分積分Ⅰ	2	位相幾何学Ⅰ	2		
			離散数学Ⅰ	2	離散数学Ⅱ	2	位相幾何学Ⅱ	2		
			離散数学Ⅱ	2	離散数学Ⅲ	2	代数学Ⅰ	2		
			微分積分Ⅰ	2	情報理論・確率論	2	代数学Ⅱ	2		
			解析幾何学	2	統計学	2	数値解析学	2		
					ベクトル解析	2	位相空間論	2		
					微分方程式	2	関数解析学	2		
					複素解析	2				
計 算 機 科 学		*計算機構成論Ⅰ	2	*アーキテクチャⅠ	2	アーキテクチャⅡ	2			
		*モバイルプログラミング	2	*計算機構成論Ⅱ	2	ハードウェア実装Ⅰ	2			
				ハードウェア設計Ⅰ	2	ハードウェア設計Ⅱ	2			
				*ハードウェア設計Ⅱ	2	オブジェクト指向設計	2			
				*ハードウェア実装Ⅰ	2	信号処理	2			
				*AIプログラミング演習	2	計算モデル論	2			
				*アーキテクチャⅡ	2	情報セキュリティ	2			
				ソフトウェア開発の文化	2	パターン認識と機械学習	2			
				コンピュータネットワーク	2	データベース	2			
				モバイルデバイスシステム	2					
日 専 門 異 間				コンピュータネットワーク	2	コンピュータネットワーク	2			
						知識情報システム論	2			
						交通システム論	2			
						アルゴリズム論	2			
						コンピュータネットワーク	2			
						経営情報学	2			
						マルチメディア	2			
						ソフトウェア工学	2			
						知的財産権	2			
						金融システム論	2			
実 践 力 育 成				ゲームプログラミング演習	2	*情報科学演習Ⅰ	2	*卒業研究	6	
				最近ソフトウェア演習	2	*情報科学演習Ⅱ	2			
				プロジェクトマネジメント	2	プロジェクトマネジメント	4			
				キャリアプログラミング演習	2	自由プログラミング演習	2			
				情報処理技術Ⅰ	2	インターンシップ	2			

〈専門科目〉

年次別授業科目配当表

4年間で履修できる専門科目が
全て記載されている。

1年生は「第1年次」の
配当科目が履修可能

- ・ 必修科目は*が付いている
- ・ 選択科目は何も付いていない

情報技術コースと情報数理
コースで必修科目が異なる！
※科目名称は同一

卒業要件【選択必修・選択科目について】

情報数理

年次別授業科目配当表

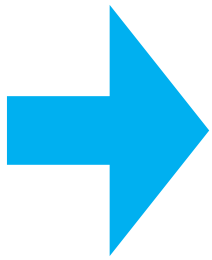
理工学部 情報科学科 (情報数理コース)		*印は必修科目							
区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
専 門 基 礎	*情報リテラシー	2	*プログラミング基礎Ⅰ	2					
	*プログラミング入門	2	日本語表現法	2					
	*プログラミング基礎Ⅰ	2	技術者倫理	2					
	*情報科学基礎演習	2	物理学	2					
	電気工学概論	2	現代自然科学	2					
	基礎物理	2							
	機械工学概論	2							
信 息 数 理	*基礎数学	2	*確率統計	2	微分幾何学Ⅰ	2			
	*線形代数Ⅰ	2	*初等幾何学	2	微分幾何学Ⅱ	2			
	線形代数Ⅱ	2	微分積分Ⅰ	2	位相幾何学Ⅰ	2			
	*離散数学Ⅰ	2	離散数学Ⅱ	2	位相幾何学Ⅱ	2			
	*離散数学Ⅱ	2	離散数学Ⅲ	2	代数学Ⅰ	2			
	*微分積分Ⅰ	2	情報理論・確率論	2	代数学Ⅱ	2			
	解析幾何学	2	統計学	2	数値解析学	2			
			ベクトル解析	2	位相空間論	2			
			微分方程式	2	関数解析学	2			
			複素解析	2					
計 算 機 科 学	*計算機構成論Ⅰ	2	*データ構造とアルゴリズムⅠ	2	データ構造とアルゴリズムⅡ	2			
	*モバイルプログラミング	2	計算機構成論Ⅱ	2	ハードウェア実験Ⅰ	2			
			ハードウェア設計Ⅰ	2	ハードウェア設計Ⅱ	2			
			ハードウェア設計Ⅱ	2	オブジェクト指向設計	2			
			ハードウェア実験Ⅰ	2	信号処理	2			
			AIプログラミング演習	2	計算モデル論	2			
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	情報セキュリティ	2			
			カブリネットとソバト	2	パターン認識と機械学習	2			
			コンピュータネットワーク	2	データベース	2			
			ソフトウェアエンジニアリング	2					
日 専 門 異 域			コンピュータグラフィックス	2	コンピュータグラフィックス	2			
					知識情報システム論	2			
					交通システム論	2			
					アルゴリズム論	2			
					コンピュータグラフィックス	2			
					経営情報学	2			
					マルチメディア	2			
					ソフトウェア工学	2			
					知的財産権	2			
					金融システム論	2			
実 践 力 育 成					流通システム論	2			
					工業デザイン	2			
					計画と管理	2			
					情報と職業	2			
					*情報科学演習Ⅰ	2	*卒業研究	6	
					*情報科学演習Ⅱ	2			
				プロジェクトマネジメント	4				
				高品質プログラミング演習	2				
				インターンシップ	2				
				ゼミナール・サポーター	2				
				実践情報科学演習	2				

〈専門科目〉

年次別授業科目配当表

4年間で履修できる専門科目が全て記載されている。

1年生は「第1年次」の
配当科目が履修可能



- ・ 必修科目は*が付いている
- ・ 選択科目は何も付いていない

情報技術コースと情報数理コースで必修科目が異なる！
※科目名称は同一

卒業要件【基礎教育・外国語科目について①】

年次別授業科目配当表

理工学部共通		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
区分		授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
基礎教育科目	科目導入	大学スタディスキル (2)			
	学修基礎	常用国語(文書力) (2)	常用国語(伝達力) (2)		
		常用数学(計算力) (2)	常用数学(活用力) (2)		
		A1導入 (2)			
		プログラミング導入 (2)			
	キャリア	キャリア形成基礎 (2)	キャリア概論 (2)	キャリア形成概論 (2)	
		消費者リテラシー (2)			
		消費リテラシー (2)			
		職業リテラシー (2)			
	文理芸融合科目	実践クロス講座 (2)		インフラデザインプロジェクト (2)	
		実践クロス演習 (2)			
		実践力育成演習 (2)			
課題解決演習 (2)					
発表演習 (2)					
実践コラボ講座 (2)					
教養科目	人文科学科目	日本の歴史 (2)			
		世界の歴史 (2)			
		科学の世界 (2)			
		文学の世界 (2)			
		心理学の世界 (2)			
		文化人類学 (2)			
	社会科学研究科目	法学 (2)			
		日本国憲法 (2)			
		現代の政治 (2)			
		地理の世界 (2)			
		人権・同和問題 (2)			
		ジェンダーと社会 (2)			
自然科学科目	科学の世界 (2)				
	地球環境 (2)				
	生物の世界 (2)				
	くらしの中の数学 (2)				
	自然科学の世界 (2)				
	スポーツ科学演習 (2)				
外国語科目	英語	Listening & Writing I (1)	Listening & Writing II (1)	Listening & Writing III (1)	Listening & Writing IV (1)
		Listening & Speaking I (1)	Listening & Speaking II (1)	Listening & Speaking III (1)	Listening & Speaking IV (1)
		English Plus (1)			
		English Experiences (2)			
	キャリア	Four Skills I (2)	TOEIC Plus (2)		
		Four Skills II (2)	Reading Focus (2)		
		Labo Training I (1)	Writing Focus (2)		
		Labo Training II (1)	Business English (2)		
	フロンティア	Domestic Job Training (4)	English Pronunciation (2)		
		Overseas Job Training (4)	Introduction to Translation (2)		
			Global Perspectives (2)		
初修外国語科目	ドイツ語 I (1)	ドイツ語 II (1)	ドイツ語 III (1)	ドイツ語 IV (1)	
	ドイツ語会話 I (1)	ドイツ語会話 II (1)	ドイツ語会話 III (1)	ドイツ語会話 IV (1)	
	フランス語 I (1)	フランス語 II (1)	フランス語 III (1)	フランス語 IV (1)	
	フランス語会話 I (1)	フランス語会話 II (1)	フランス語会話 III (1)	フランス語会話 IV (1)	
	韓国語 I (1)	韓国語 II (1)	韓国語 III (1)	韓国語 IV (1)	
	韓国語会話 I (1)	韓国語会話 II (1)	韓国語会話 III (1)	韓国語会話 IV (1)	
	実用韓国語 (1)	上級韓国語 (1)			
	中国語 I (1)	中国語 II (1)	中国語 III (1)	中国語 IV (1)	
	中国語会話 I (1)	中国語会話 II (1)	中国語会話 III (1)	中国語会話 IV (1)	
	実用中国語 (1)	上級中国語 (1)			

〈基礎教育科目・外国語科目〉

年次別授業科目配当表

4年間で履修できる基礎教育科目

と外国語科目が

全て記載されている。

《卒業するまでに必要な単位数》

導入科目 2単位

学修基礎科目

キャリア科目

文理芸融合科目

教養科目

14単位

《卒業するまでに必要な単位数》

英語 6単位

卒業要件【その他】

専門科目・基礎教育科目・外国語科目を要件どおりすべて修得しても、**110単位**にしかない。

残りの14単位は、

専門科目・基礎教育科目・外国語科目から

自由に選び修得する！！

卒業要件【再履修について】

単位を落としてしまったら・・・

次の年度以降、**再履修**できます。

【再履修のルール】

- ・ 配当年次は気にしなくてよい
- ・ もう一度初回授業からスタート
- ・ 修得済みの科目は再履修不可（S評価を狙って受けなおす等）

※例外※

以下の科目は、同じ年度内に再履修してもよい。

- ・ 基礎数学
- ・ 基礎物理
- ・ 外国語科目

卒業要件【履修制限について】

- 1年間で履修できる上限単位数

44単位

※累積GPAが3.0を超えていれば、48単位まで可。

- 半期で履修できる上限単位数

28単位

※基礎数学・基礎物理・大学スタディスキルの再履修、集中講義科目、単位認定（英検等）は履修上限には含まれません。

卒業要件【GPAについて】

GPAとは・・・

S評価を4、Aを3、Bを2、Cを1、DとEを0とし、
自身が修得したすべての科目の平均値。

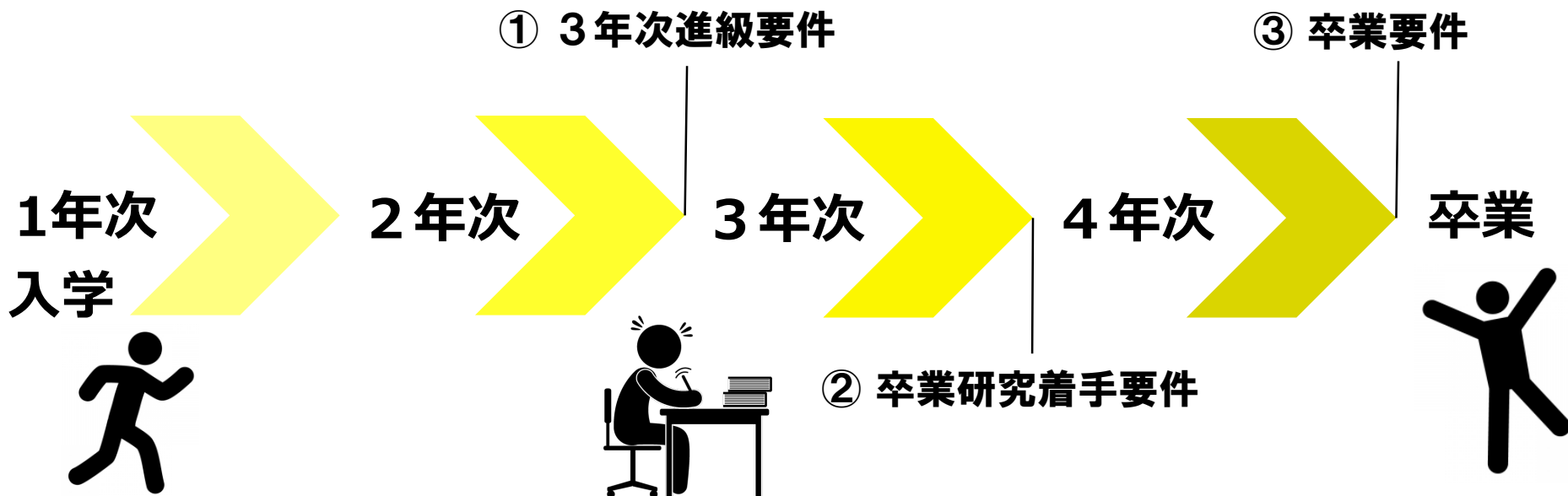
※詳しくは学生便覧P.135

GPAが大切となる場面(一例)

- ・ゼミ配属は、GPAの高い者の希望先から順に決定する。
- ・履修人数制限のある科目は、GPAの高い者から順に履修を認める。
- ・就活の場で、GPAを聞かれることがある。
- ・大学院進学のおすすめを受けるとき、GPAが学科内で上位4割に入っている必要がある。
- ・累積GPAが3.0を超えていれば、年間48単位まで履修できる。

卒業要件【履修制限について】

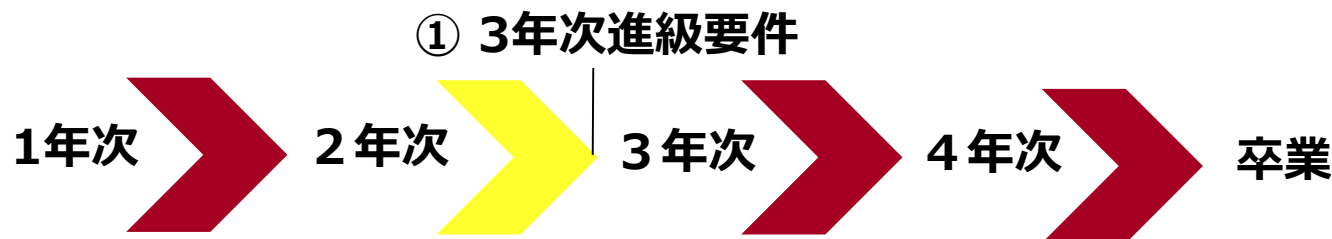
入学から卒業までの履修制限



各年次ごとに履修制限があるため、しっかり理解して計画的に履修登録を行ってください。

◀① 3年次進級要件▶

1年次及び2年次に配当されている授業科目を、**56単位（基礎数学を含む）**以上修得していなければ2年次のままとし、3年次に進級することができない。



《② 卒業研究着手要件》

卒業に必要な124単位のうち、
情報科学演習Ⅰ・Ⅱを含む
100単位以上を修得していること。

② 卒業研究着手要件

1年次



2年次



3年次



4年次



卒業



卒業要件

《③理工学部卒業要件》

学生便覧129ページ

卒業するまでに必要な単位は、**124単位**
ただし、下記の卒業要件を満たさなければならない。

授業科目区分		授業科目及び単位数		
		情報科学科	機械工学科	電気工学科
専門科目	必修科目	40単位	62単位	56単位
	選択必修科目	—	—	4単位以上
	選択科目	48単位以上	40単位以上	24単位以上
基礎教育科目	導入科目	2単位	2単位	14単位以上
	学修基礎科目	14単位以上	14単位以上	
	キャリア科目			
	文理芸融合科目			
教養科目				
外国語科目		英語6単位以上	英語6単位以上	英語6単位以上
合計		124単位以上	124単位以上	124単位以上

③ 卒業要件

1年次

2年次

3年次

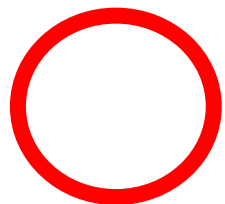
4年次

卒業



注意事項

卒業要件や履修制限は、**学部学科学年**ごとに規定が全く異なる。



- ①自分で学生便覧を読み込む
- ②同じ学科・学年の友達と話す
- ③先生や教務課に相談する



- ①学生便覧を読まない
- ②違う学科の友達に聞く
- ③先輩に聞く(その後確認をしない)

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

授業時間割

本日配布している授業時間割表は3種類

- ① 「理工学部情報科学科 授業時間割表」
- ② 「KSU基盤教育科目・教職・留学生（日本事情）科目」
- ③ 「KSU基盤教育科目（外国語科目・留学生の日本語）」

※ ②と③は全学共通

教務部HPに時間割データがアップされている。

<https://www.kyusan-u.ac.jp/eas/research/rikou/>

※時間割に変更が生じた場合、HPのデータが更新されるため、
授業開始当日までに、一度確認しておくこと。

※紙の時間割は、来年度以降は配布されない。

授業時間割【見方について】

教室の見方

N 1 0 1	1号館 1階北側	1 0 1 教室
2 E 3 0 1	2号館 3階東側	3 0 1 教室
8 3 1 5	8号館 3階	8 3 1 5 教室
1 2 1 0 7	12号館 1階	1 2 1 0 7 教室
4 2 番	中央会館 4階	4 2 番 教室
パソコン教室1	中央会館 4階	パソコン教室
OA教室2	1号館 6階南側	OA教室



履修ガイド+K`sLife利用ガイドにも
記載されています。

授業時間割【事前に登録されている科目について】

事前に履修登録されている外国語科目

- 「Reading & Writing I・II」
 - 「Listening & Speaking I・II」
- 英語プレイスメントテスト結果によりクラス分け。

事前に履修登録されている専門・基礎教育科目

- 学科ごとに、いくつかの科目は事前に登録されている。
- 一部の対象者のみに登録されている科目もある。

不明な点があれば教務課に確認すること！

092-673-5594（理工学部担当直通）



国語・数学の履修登録について

4月2日(土)に実施した国語・数学プレイスメントテストの結果により、以下の科目が**履修登録されている場合**があります。この場合は**必ず履修し、単位を修得**してください。

国語科目：「実用国語(文章力)」「人文科学の世界」
「実践クロス講座（応用国語）」

数学科目：「実用数学（計算力）」

不明な点があれば**教務課に確認すること！**

092-673-5594（理工学部担当直通）

新規科目の紹介【令和4年度からの科目】

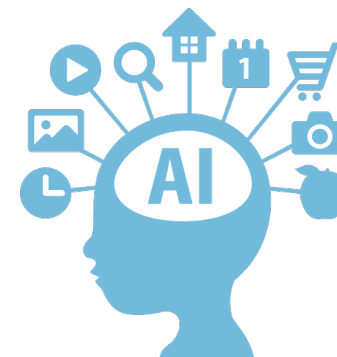
AI導入	AIが社会において与える影響を学び、AIの技術的な仕組みについて学ぶ科目
プログラミング導入	プログラミングに関する基礎知識を深める科目
データリテラシー	高度な数理的分析の前提となるデータの読み方や考え方に関する基本的事項について学ぶ科目
消費者リテラシー	日常生活を送るうえで必ず関わる消費者問題について、その基本概念を学ぶ科目
実践コラボ講座 (ダイバーシティ)	多用な人材 (ダイバーシティ) を採用し、彼らの能力を活かして組織にプラスの効果をもたらす人事戦略を学ぶ科目
実践コラボ演習 (SDGs)	SDGsとの関りが、人類と地球との関係に重要な役割を果たすことを学ぶ科目
実践コラボ演習 (AIと社会)	人間とAIとが協働する社会に適応するための講義・演習を行う科目
くらしの中の数学	社会や暮らしに関連した話題について、数学を用いて考察することを学ぶ科目

皆さんの将来に役立つ授業となっていますので、
積極的な受講をおすすめします。

AI・データサイエンス副専攻について

AI・データサイエンス副専攻 ～学部横断型の学び～

- ① 社会において必要とされる、AI・データサイエンスに関する**基礎的な教養を修得する。**
- ② 本学に設置する分野から、横断的にAI・データサイエンスに関する**様々な知識・経験を得る。**
- ③ **体系的な学修を通してAI・データサイエンスの考え方を理解し、活用することができる。**



* 興味がある学生は学生便覧P.264をご確認ください。

履修登録【期間について】

●履修登録期間

2022年4月7日(木)10:00～4月9日(土)23:59まで

※**前学期・後学期及び通年科目すべて**上記の期間に履修登録すること。

※**集中講義科目**も上記の期間に履修登録すること。

●前学期履修変更期間

2022年4月11日(月)10:00～4月14日(木)23:59まで

●後学期履修変更期間

2022年9月8日(木)10:00～9月21日(水)23:59まで

※注意事項

- ①授業内容・教室の規模に応じて履修登録を制限している科目もある。
- ②履修登録期間終了後に履修科目の追加登録はできません。

試験【定期試験・追試験】

前学期定期試験

2022年7月25日(月) ~ 7月30日(土)まで

後学期定期試験

2023年1月16日(月) ~ 1月21日(土)まで

○追試験

病気、その他やむを得ない事由で定期試験を未受験の学生に対して行う。

追試験を申し出ることができる要件は**学生便覧**を確認すること。

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

教職資格等

教職・学芸員・社会教育主事・司書等
資格取得が可能

《教職課程》

1年次後学期から履修開始

7月頃教職ガイダンス実施（1年次生対象）

《司書・学芸員・社会教育主事》

1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス（司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事）

希望者は以下時間帯に**必ず出席**すること。

4月7日（木） 17:00～ S201教室

日本学生支援機構奨学金

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象

理工学部 情報科学科 1年生

日程：4月6日（水）9：00～

場所：1号館2階 N204教室

※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階厚生課にお尋ねください。

教科書購入Webサイト

[日程]Webサイト公開期間

4/1(金)～5/31(火)

[場所]3号館8階教科書受渡所

4/4(月)～4/28(木)

※4/28以降は1号館横の丸善売店で受け渡し

※注意事項

- ・シラバスを確認すること。
- ・購入後の返品ができない場合があるため、履修登録が終了した後に購入すること。



100分授業の導入に応じて、 夏季や春季の休業期間の延長

- ◇夏季：7月31日（日）～9月14日（水）
- ◇春季：1月23日（月）～3月20日（月）



長期休業期間中の学外での活動を推奨

（例：海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、
インターンシップ参加など）

出席

[本学学生のデータ分析の結果]

授業全体の出席率が

 **80%以下** になると、

単位修得率が大きく下がることが分かっている。

急な病気等で休まないといけないこともあるため、

普段から授業にはきちんと**出席**すること！

三者面談

- 1 学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付。
- 2 連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付。
- 3 学期末に出席率.GPA.修得単位数が低い学生については、三者面談。
- 4 改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒（訓告、退学処分）**を行うことがある。



対象にならないように、授業には**必ず出席**すること！

本日以降スケジュール(一部抜粋)

《4月6日(水)》

WEB履修登録説明会

※学生便覧・履修ガイド・授業時間割表を**必ず持参**すること

《4月7日(木)》

10:00~

履修登録開始

《4月8日(金)》

授業開始日

※時間や場所は学科ごとに異なるため、詳細は新入生オリエンテーション等日程表を確認してください。

教務課からのお願い

1. 電話に出てください

「092-673-5594」は理工学部担当からの大事な連絡です。
必ず電話に出るか、折り返しの連絡をしてください。

2. 学籍情報を更新してください

メールアドレス・電話番号が変わったら必ず更新してください。
住所変更等、K's Lifeで更新できない項目が変わったら、必ず教務課に届出を
してください。

3. わかないことは何でも相談してください

分からないことがあったら、まずは自分で調べてみてください。
調べても分からなければ、すぐ聞く、連絡する、相談するなどしてください。

各種相談先

授業内容や成績評価について



各先生

就職・就活について



キャリア支援センター

092-673-5555

メンタルケア(不安や悩み)
について



学生相談室

092-673-5183, 5168

奨学金・定期券・サークル・
部活動関連



学生部

092-673-5581

学費(授業料や入学金)
について



財務部

092-673-5544

履修相談・休退学・
その他なんでも



教務課

092-673-5594



コロナウイルス感染症の影響に伴う本学の対応

K's LifeやHPで随時情報を更新していますので、
必ず確認するようにしてください。
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、
各自、自己防衛に努めてください。

また、体調不良の際は、
必ず九産大保健室に連絡してください。

092-673-5119

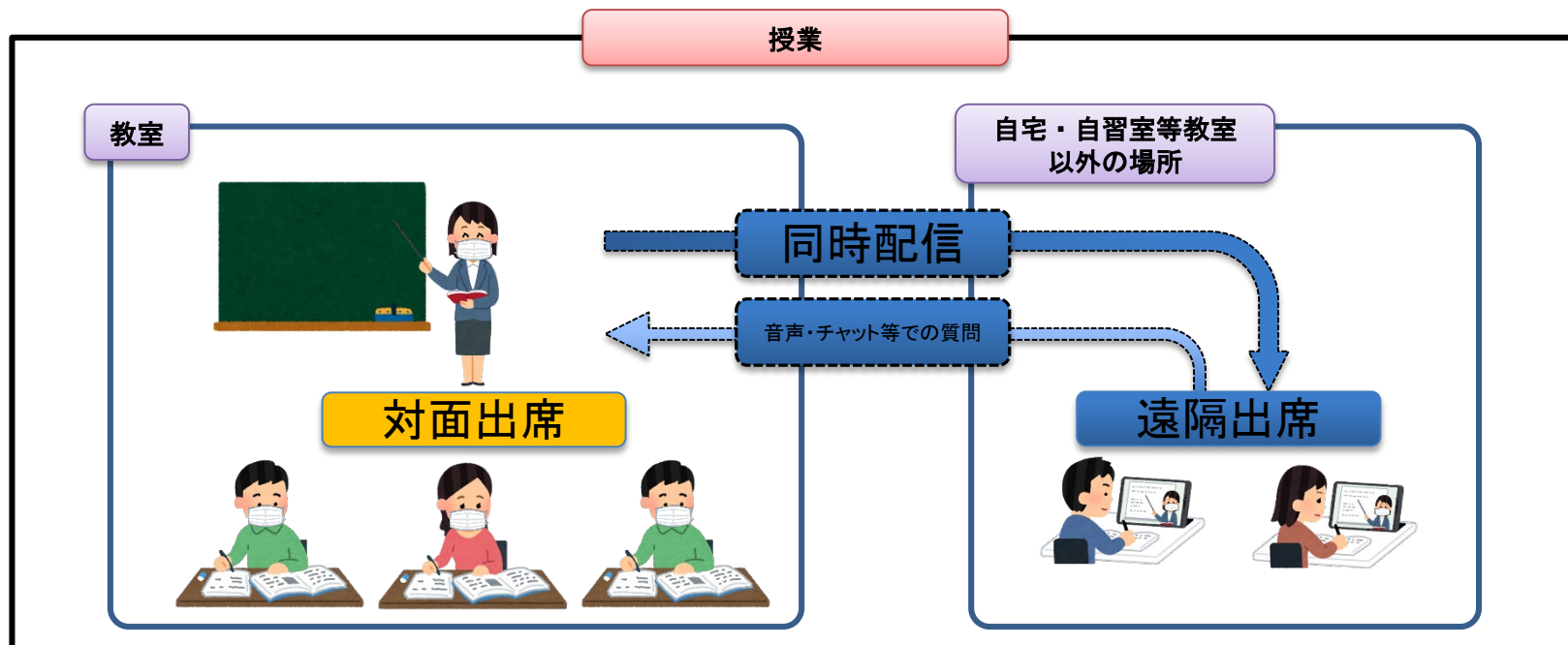


授業の実施方法【基本】

レベル1～2における「対面授業と遠隔授業を併用して授業を実施」の方法は、ハイフレックス型とします。

ハイフレックス型とは、教員は原則としてZoomを使って教室で授業を行い、学生の皆さんは対面出席、遠隔出席のいずれかの方法で授業に参加する方法を指します。

【ハイフレックス型のイメージ】

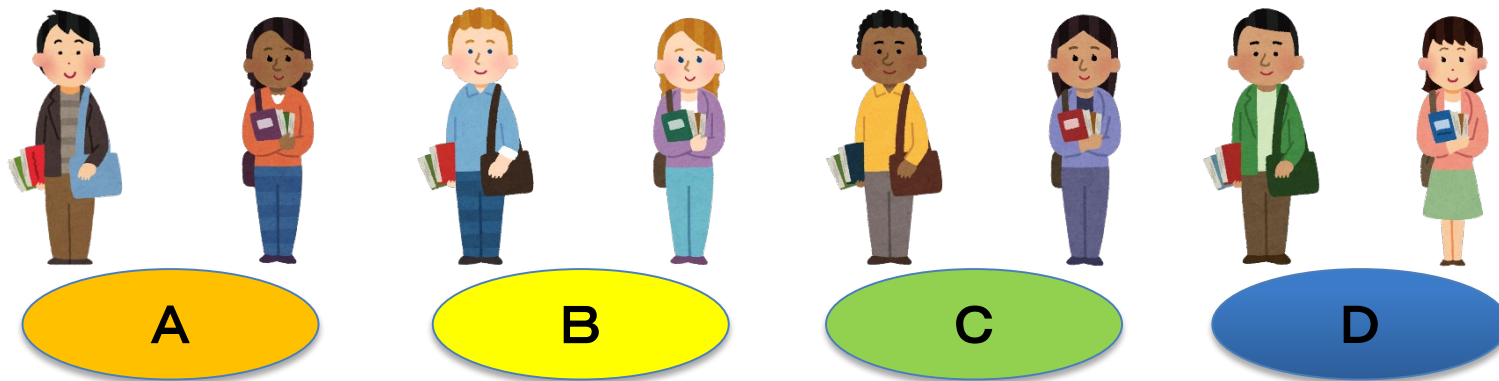


対面出席・遠隔出席の調整方法①

- ～グループ分け～

学生の皆さんの受講環境(対面出席と遠隔出席が同日に重ならない)に配慮し、**感染拡大防止と、学修機会の確保を両立させるため**、大学として統一して、以下の方法で出席率の調整を行います。

- ①全学生をA／B／C／Dの4グループに分けます。
一度、指定されたグループは、基本的に変更しません。



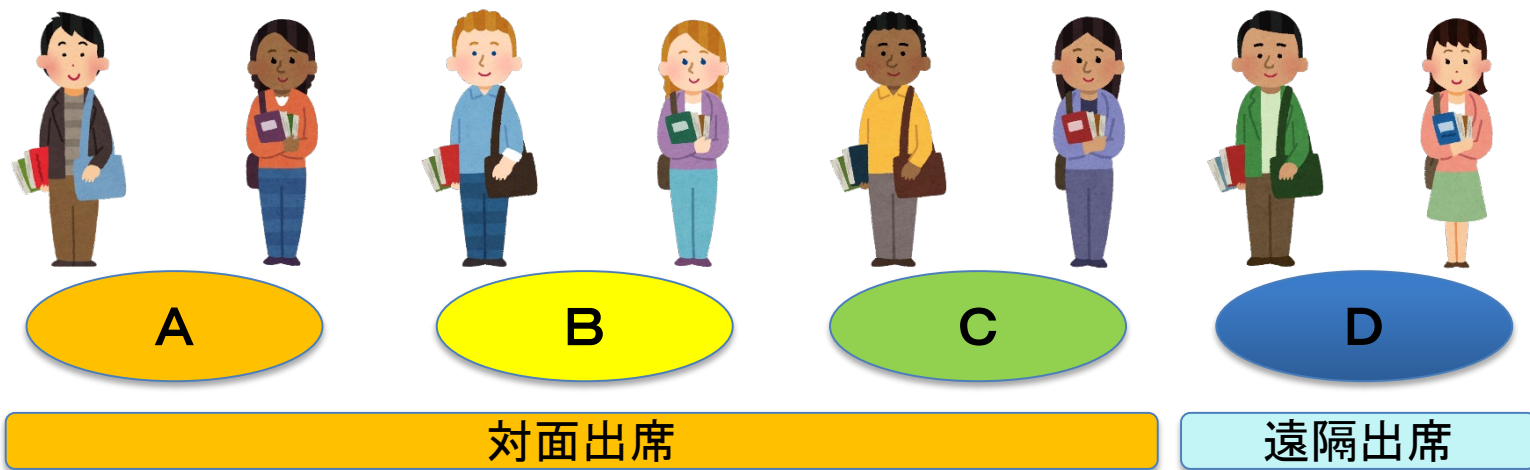
グループ分けの結果は、K'sLifeで通知しているので、確認してください。

対面出席・遠隔出席の調整方法②

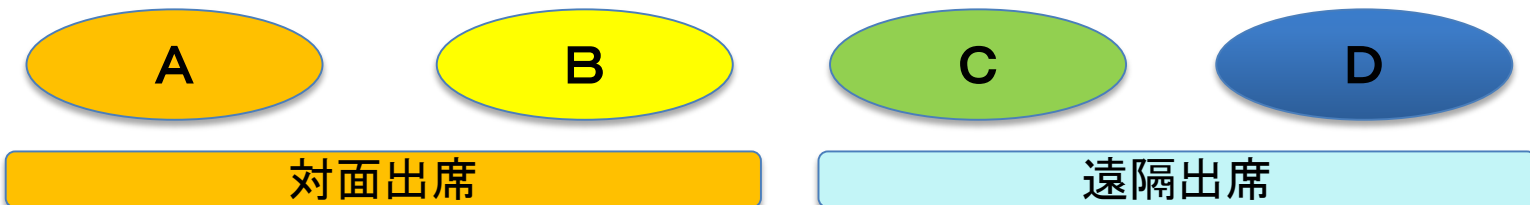
- ～グループ分け～

②レベルに応じて、対面出席のグループを指定します。

【3グループを対面出席とする場合】



【2グループを対面出席とする場合】



対面出席・遠隔出席の調整方法③

③実際の出講日については、学年暦のカレンダーを用いて、下記のように対面出席するグループを指定します。指定は学期単位で行いますが、授業期間途中でレベルが変更になった場合は、対面出席グループを再指定し、改めて周知します。

【例：3グループを対面出席とする場合】

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8 授業開始 BCD ①	9 ABCD ①②
10	11 CDA ①	12 DAB ①	13 ABC ①	14 BCD ①	15 CDA ②	16
17	18 DAB ②	19 ABC ②	20 BCD ②	21 CDA ②	22 DAB ③	23 ABCD ③④
24	25 ABC ③	26 BCD ③	27 CDA ③	28 DAB ③	29 昭和の日	30

※出席グループは、K'sLifeの通知及び大学HPで確認してください。

学部学科、授業科目の特性に応じた対応

学部学科、授業科目により、実験実習、演習、ゼミナール科目等については、教育効果を考慮し、遠隔グループであっても、対面での出席を求められることがあります。

その際は、授業科目担当者等の指示に従ってください。

- ・ 遠隔グループであっても、対面での出席を希望する場合は、授業科目担当者に申し出てください。
- ・ 体調不良等の場合は出校しないでください。対面出席のグループの場合は、授業科目担当者に相談してください。

